

新語録

2016年中国の新語・流行語

趙蔚青

2016年は、新しい言葉がどんどん作り出されたり、すでにある表現に新しい使い方が生まれて盛んに使われたりした一年のように思われる。言葉の変化を敏感に捉え、かつ表記法や使い方の規範を厳しく守ってきた雑誌《咬文嚼字》も、“藍瘦香菇”といった、俗っぽい表現を流行語トップテンに入れたほどである。

表1 《咬文嚼字》の流行語トップテン

供給側、工匠精神 洪荒之力、吃瓜群众、小目标、友谊的小船说翻就翻、一言不合就XX、葛优躺、套路、蓝瘦香菇
---------------------------------------------------------

出所：2016年12月14日に発表された。中央テレビ網2016年12月15日による。  
<http://news.cctv.com/2016/12/15/ARTIkNbCBkluJSzP2WLVsBYM161215.shtml>

表2 CCTVの2016年の流行語・新語

流行語トップテン： 长征精神、两学一做、杭州G20峰会、南海、里约奥运会 脱欧、美国大选、亲信干政、天宫二号、阿尔法围棋
新語トップテン： 两学一做、冻产、洪荒之力、表情包、阿尔法围棋 网络大电影、摩拜单车、山寨社团、吃瓜群众、闺蜜门
ネット流行語トップテン： 洪荒之力、友谊的小船、定了小目标、吃瓜群众、葛优躺 辣眼睛、全是套路、厉害了我的哥、蓝瘦香菇、老司机

出所：中国中央テレビ局が2016年12月21日に発表した。中央テレビ網2016年12月15日による。<http://news.cctv.com>

インターネットやモバイル端末などで生まれたり盛んに使われたりする表現も、マスメディアに認められる傾向がどんどん強くなってきている。流行語の選出で市民権を獲得した《咬文嚼字》の2016年流行語トップテンに選ばれたもののほとんどが、中国中央テレビ局（CCTV）のネット流行語と一致していることから、その傾向も窺える。

これらの新語・流行語がいつ流行りだし、どれほど流行したか、昨年と同じように「百度指数」<sup>1)</sup>というサービスを利用し確かめた。また、昨年に比べ、単なるキーワードの検索量だけでなく、主要メディアの見出しや本文に出ているキーワードの使用頻度も参考にしてみた。

2016年の新語・流行語についても、百度指数のデータを参考にしながら時間を追って説明することにした。

## 1. 熔断（róng duàn, サーキットブレーカー）

株式市場の激しい変動を抑え相場の安定化を図るために、2015年12月4日、中国の証券取引に新たにサーキットブレーカー制度を導入することが決まり、2016年1月1日から実施することになった。そして2016年1月4日、年が明けて初の取引日に、発動した。

しかし、その効果は予想通りにならず、株価の下落が6%に達することでサーキットブレーカーがかかると売れなくなるのを恐れて、どんどん売り注文が出て、かえってサーキットブレーカーがかかってしまった。株式市場にパニック状態をもたらすマイナス効果も否定できない。

---

1) 「百度指数」とは、ネットユーザーの行動に関する膨大なデータを分析・提供するサービスのことである。検索エンジンにかけられたキーワードやマスメディアに使用されるキーワードの変化の様子が、時系列でよくわかる。<http://index.baidu.com/Helper/?tpl=help&word=#pdesc>

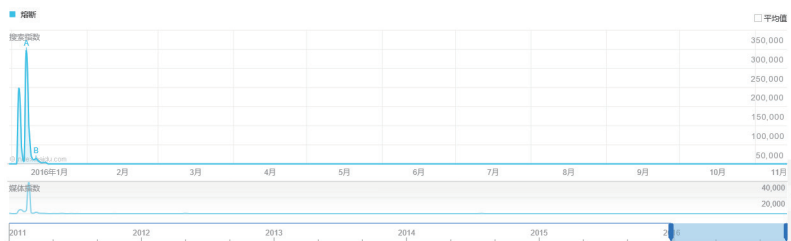


図1 “熔断”の百度指数<sup>2)</sup>

## 2. 引力波 (yīn lì bō, 重力波)

アインシュタインが一般相対性理論で予言した重力波のことである。一般相対性理論が発表されて100年経った2016年の2月11日に、ついに、アメリカの科学者がLIGO (Laser Interferometer Gravitational-Wave Observatory) という巨大な観測措置で重力波を直接検出することに成功したと発表した。

2月の検出は単なるまぐれではなく、6月16日に2度目の検出も発表された。重力波の検出によって100年も前の偉大な予言が証明され、天文学が新しい時代を迎えたと言えよう。

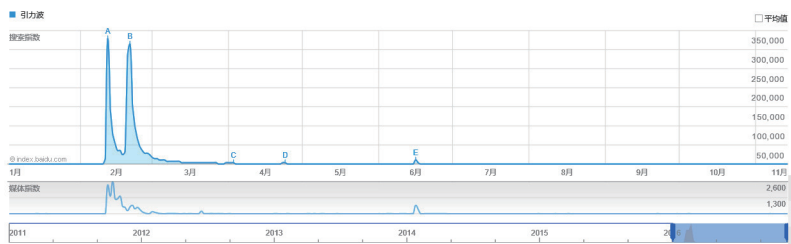


図2 “引力波”の百度指数

2) 「百度指数」による。百度指数の図では、上の段は“搜索指数”と言い、その縦軸の数値はそれぞれの時期に検索にかけられたキーワードの検索量である。そこから当該キーワードに対する疑問や関心が分かる。それに対し、下の段は“媒体指数”と言い、その縦軸の数値は当該キーワードのインターネットメディアにおける使用頻度の推移となっている。二つの指数はデータ源も計算方法も異なるので直接に関わっていない。どちらかといえば、後者のほうが実際の言語使用を反映していると思われる。

### 3. Apple Pay／苹果支付 (píng guǒ zhī fù, Apple Pay／アップルペイ)

Apple Pay は、米アップル社が2014年に開発したモバイル決済サービスであり、アメリカで2014年10月から実用化された。2016年2月18日に中国でも使えるようになったのをきっかけに、アップルペイという言葉も流行ってきて、そのよしあしやAndroidの決済サービスとの比較などで話題になった。

ちなみに、アップルペイの日本での使用は2016年10月25日に始まり、珍しく中国よりおそくなっている。

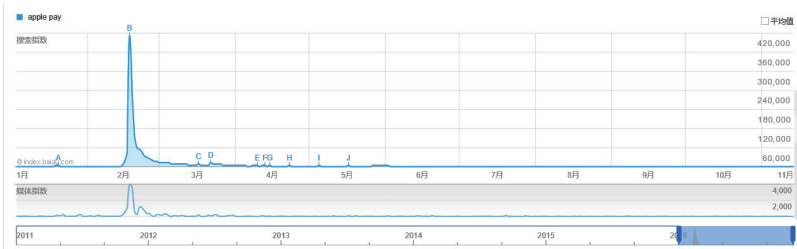


図3 “Apple Pay”の百度指数

### 4. 供給側 (gòng jī cè, 供給側／サプライサイド)

「需要側」と対義語になっている「供給側」。「サプライサイド」とも言う。マクロ経済学の一派でサプライサイド経済学を研究する流派もあり、供給側の活動に注目し、供給力を正しく強化することで経済成長を達成できると主張する理論である。

持続可能な経済発展を図るために、習近平国家主席が、2015年の後半に

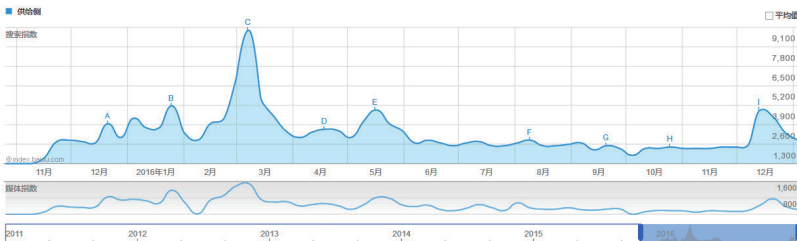


図4 “供給側”の百度指数

「供給側改革」を提出した。具体的に「供給側改革」とは、インフラ投資や輸出への過度な依存から、国内需要重視の経済構造への転換を進めることである。そして、2016年から始まった五カ年計画で重点的に取り組む方針ともなっている。

## 5. A4腰 (āi sì yāo, A4 ウエスト)

A4用紙のサイズよりも細いウエストのことである。

「瘦身」とか、スタイルにこだわっている風潮の中で、女優の袁姍姍が細い腰を自慢し、縦にしたA4用紙に隠れたウエストを自撮りしSNSで披露したのがきっかけで、多くの女優たちがつぎつぎに自慢のウエストを披露したことに波紋が広がった表現である。



(百度百科による)

袁氏の写真に対するコメントに「私は横にしたA4ウエストです」と書き込んで、うらやましがっている人も相当いるようだ。

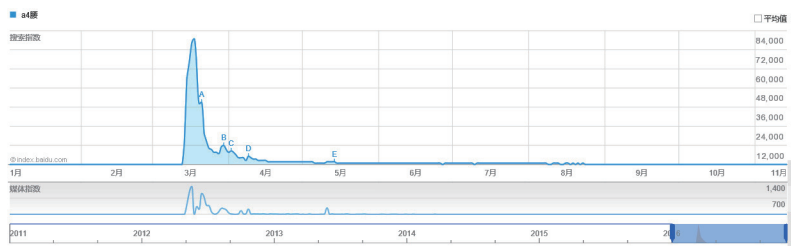


図5 “A4腰”の百度指数

## 6. AlphaGo/阿尔法狗 (ā ěr fā gǒu, AlphaGo/アルファ碁)

AlphaGoは、米グーグル社の人工知能開発企業ディープマインド(DeepMind)によって開発された囲碁のできるコンピュータープログラムである。「Go」は囲碁のことを指すが、俗に発音が中国語で近い発音の「狗」に訳されることがある。

チェスなどに比べ、はるかに創造的かつ戦略的思考が必要とされる囲碁。2016年3月15日に、韓国のプロ囲碁棋士李世乭（九段）との勝負で勝ったAlphaGoには、韓国棋院が名誉九段を授与した。人工知能における画期的な進展とされ、その応用がますます期待される。

また、2016年12月末から1週間ほどの間で、世界的トップレベルのプロ棋士をネット試合で次々に破り、60連勝を果たした「マスター」という謎の「棋士」も結局、アルファ碁の進化版であることが、ディープマインドのCEOであるデミス・ハサビスのツイッターで明かされた。

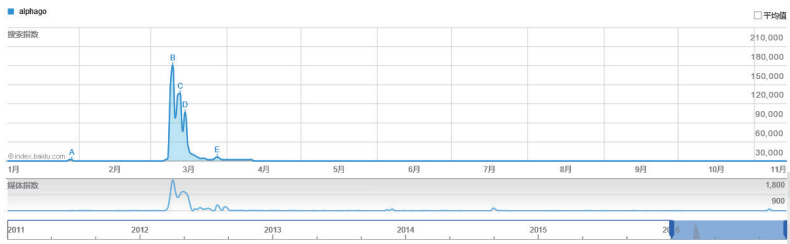


図6 “AlphaGo”の百度指数

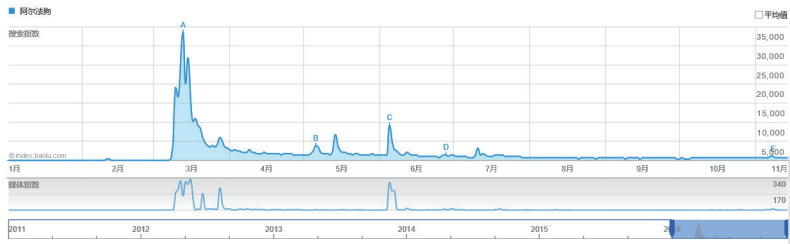


図7 “阿爾法狗”の百度指数

## 7. Papi 酱 (pa pi jiàng, Papi ちゃん)

動画のネット放送で有名になったネット人気者の愛称で、本名は姜逸磊と  
いう。“酱”は日本語の「-ちゃん」から音訳した接尾辞である。

中国の中央戯劇学院を卒業した姜さんは、オリジナル動画を制作し、機械による変声効果を入れた動画をミニブログやウィチャットなどのSNSにアップし、わずか2ヶ月で数百万人ものフォロワーを獲得した。

動画の初めに、「Papi ちゃんです。美貌と才能を併せ持つ女の子です」と毎回宣言し、毒舌でずばりとつつこんだ爆笑動画が、再生総数3億回以上に達している。

2016年3月に、投資家から1200万元（約2億円）の投資を得たそうで、投資価値は3億元以上もあると見られる。

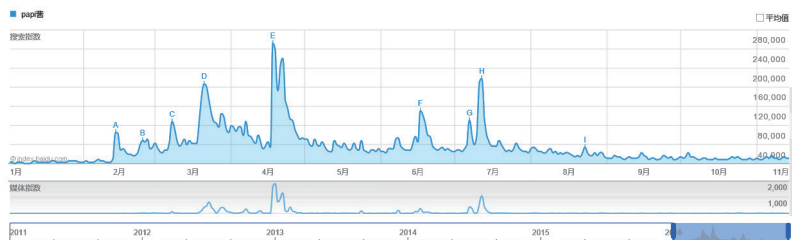


図8 “Papi 酱”の百度指数

## 8. 撩 (liáo, 口説く／ナンパ)

“撩”は「煽ぐ」という意味があり、江西省や広東省の一部の地域方言では特に異性の好感を得るためにあれこれと口説くことを指す。女性を口説くことを“撩妹”、男性の注意を引くことを“撩汉”と言う。

(1) 唐诗竟成韩剧撩妹神器！（唐诗はなんと、女性を口説く神器となっているんだ！）

この言葉の流行は、大ヒットした韓国のテレビドラマ『太陽の末裔』の主人公がさまざまな手段で女主人公を口説く内容について視聴者がコメントしたことにつながっているとみえる。

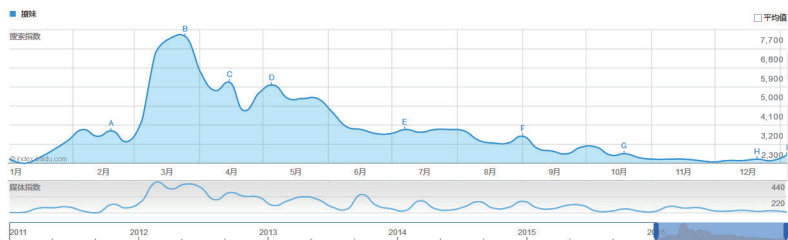


図9 “撩妹”の百度指数

## 9. 友谊的小船说翻就翻 (yǒu yì de xiǎo chuán shuō fān jiù fān, 友情の小船はすぐ転覆する)

「友情の小船」は英語の「friendship」から面白半分につくられた造語であり、「友谊的小船说翻就翻」は、友情は当てにできないもので、すぐに消えるという意味である。

その語源は、漫画家のナントンニ<sup>3)</sup>が創作した漫画「友情の小船はすぐ転覆する」にさかのぼることができるが、視聴率が30%を上回る韓国のテレビドラマ『太陽の末裔』の放送によって、ストーリーにつっこむ中で一気に流行りだし、口癖のように言われるようになった。

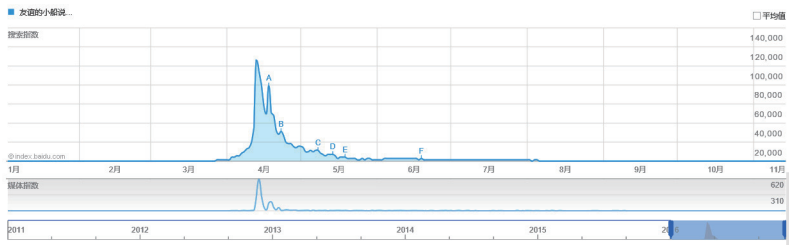


図10 “友谊的小船说翻就翻”の百度指数

## 10. 魏则西 (wèi zé xī, 魏則西)

ごくありふれたサラリーマン家庭で育った大学生の魏則西が2016年3月末、インターネット上に滑膜肉腫（ガン的一种）で苦しみ、そして病気と闘う日々の記録を書き残した。その中で、武警<sup>4)</sup>第二病院と「百度搜索」に関する内容が注目を集めた。

放射線療法や化学療法では治らず、貯蓄したお金もほとんど使い切った魏則西とその両親は、滑膜肉腫の専門病院と言われる武警第二病院で「生物免疫療法」があることを、百度を検索して知ってから、親戚や友人から20万

3) 中国語で“喃东尼”と書かれる。

4) 武装警察の略。武警病院は全国各地にあり、武装警察を対象に治療を行うと同時に一般市民にも利用されている。



元（約340万円）ほど集め、同病院で4回の治療を受けた。ところが、その効果が全く現われず、魏則西は4月12日に21歳の若さで亡くなってしまった。彼は死ぬ直前に、「米スタンフォード大学との共同研究を行い、「生物免疫療法」（DC-CIK）で80～90%の治癒効果をあげている」というのが嘘の宣伝文句であり、いわゆる「生物療法」が滑膜肉腫に効果のないことを、ネット検索でやっと知った。しかし、その時は、すでに治療するタイミングを逃し、治療費も失ってしまっていた。

魏則西の死後、調査で明らかになり人々に憤りを感じさせるのは、武警病院を実際に運営しているのは、「莆田系」の会社であり、病気に効果がない「生物療法」も提供しているという事実である。また、百度も「莆田系」から多額の広告費を受け取り、「生物免疫療法」を検索すると、常に「武警第二病院」が上位にランクされるよう操作していたという事実である。

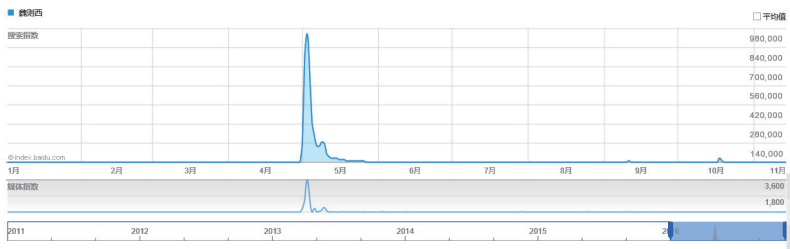


図11 “魏则西”の百度指数

## 11. 老司机 (lǎo sī jī, ベテラン運転手)

もともと経験豊かなベテラン運転手のことを指していたが、現在は、あることについてよく知っている、またはある分野のプロという意味で、使い方が拡張された言葉として使われている。

雲南省の民謡風に歌われた歌詞の中に“老司机带我”（運転手さん、乗せてちょうだい）の一句が、BBSで広く使用された結果、一気に広がってきたという。少しエロチックな話題や話しにくいことについて言う場合が少なくなそうだ。

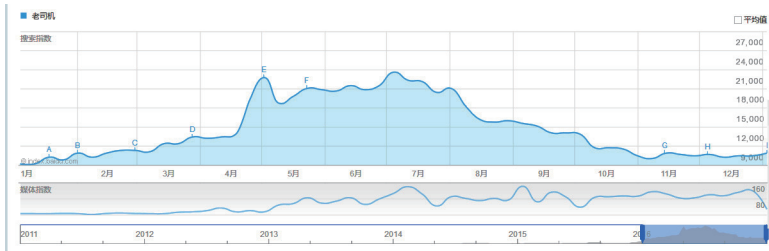


図12 “老司机”の百度指数

## 12. 套路 (tào lù, 計略／トリック)

“套路”とは本来、中国武術において、連続的な攻撃方法、防御方法、立ち方や姿勢、歩き方、呼吸法、運氣法（気功）などを総合的に盛り込んだ一連の身体動作を指す。

ゲームをはじめインターネットなどでは、よく練った計略を意味する。人気オンラインゲーム「英雄連盟」(League of Legends) を楽しむ若者の間で、“自古深情留不住，唯有套路得人心”（情けは水のように流れてしまい、計略だけがいつまでも残っている）という言い方が流行っている。真心を持って人と付き合う人よりも、いろいろと計略のできる人のほうが憧れられる。

(2) 满满的都是套路，然而我早已看穿了一切。（すべてトリックだ。だが、僕はとっくに見抜いている。）

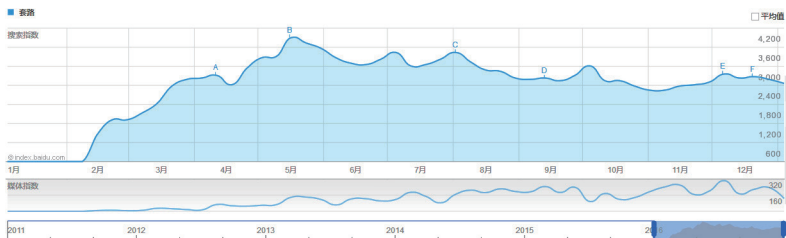


図13 “套路”の百度指数

## 13. 一言不合就…… (yī yán bù hé jiù……, ややもすれば…／いきなり…)

“一言不合”は本来、「話が合わない」という意味で、「話が合わない」とす

ぐ喧嘩にでもなってしまうたり、ややもすれば相手と別れる」など、もともとマイナスのイメージをもち、よく考えずに悪い結果をもたらす行動に移すという意味だった。使っているうちに、マイナスのイメージでもプラスのイメージでも使うようになり、現在はただ単に、思いがけない何かを仕出かす様子を表すようにと、意味変化した。

(3) 一言不合就打了对方。(ややもすれば相手を殴ってしまった。)

(4) 一言不合就自拍。(いきなり自撮りをした。)

他俩一言不合就结婚了。(二人は突然結婚することに決めた。)

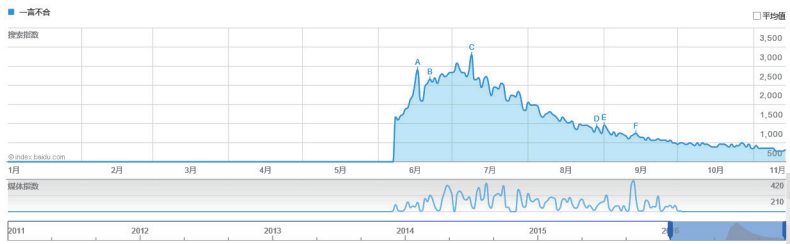


図14 “一言不合”の百度指数

#### 14. 裸条 (luǒ tiáo, ヌード写真借用書)

2016年6月、南方都市報の記者によって、主に女子大生を対象にローンを提供するネット上の業者がいるという事実が明らかにされた。これらの業者は“借条”（借用書）の代わりに、裸で身分証明や家族の連絡先などを持って写真または動画を撮るように要求し、期限内に返済できなかったら、ヌード写真や動画を公開すると借金した女子大生を脅かしている。報道によると、このヌードローンの被害者はかなりの数にのぼっているようだ。

高利のローン返済に困っており、“裸条”（ヌード写真）を業者に握られ、しかも公開されるのを恐れた女子大生が、悪くすれば売春を強いられるケースも生じている。

女子大生の墮落や、不法な業者の残酷さが話題になっているが、ネットローンの無法状態を厳しく取り締まるべきだと専門家も声をあげている。

そして、2016年12月の初めに、とうとう1000人以上の若い女性のヌード

写真が大量に流出する事件が起こり、騒動になった。

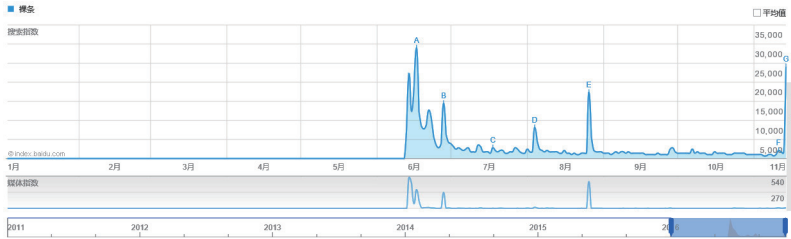


図15 “裸条”の百度指数

### 15. 吃瓜群众 (chī guā qún zhòng, ヤジウマ見物人)

インターネットのBBSなどでコメントする時によく使われた言葉から、だんだん日常的な表現になってきたものである。真相がよくわからないまま、議論や発言をしたり各種意見を述べたりして野次馬見物をする人々のことを指す。

もともとこの表現の中の“瓜”は瓜ではなく、中国人がよく暇つぶしで食べる“瓜子”、瓜の種やひまわりの種のことである。最初は、掲示板などで何かの話題で議論する際、事情がわからないまま関係のない書きこみをしたりした人に対し、「瓜の種を売っているよ」「瓜の種を食べている」というコメントが寄せられ、後になると省略して“吃瓜”（スイカを食べている）または“吃瓜群众”（スイカを食べる人だ）と変わったものだ。

現在は、関係のない野次馬見物人を“吃瓜群众”と呼ぶこともあり、またコメントを控え目にしてただ側で見ている自分のことを“吃瓜群众”と自嘲

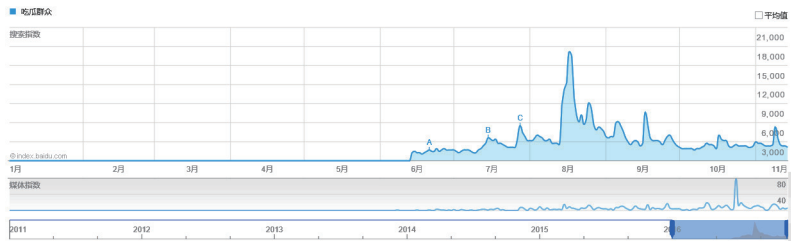


図16 “吃瓜群众”の百度指数

することもある。

### 16. 北京癱／葛优躺 (běi jīng tān/gě yōu tāng, 北京風座り／葛優座り)

“北京癱”とは、北京っ子の力を抜いた一種の行儀の悪い座り方である。歌手の張偉がテレビ番組で紹介したのがきっかけとなり広まった言葉である。

1993年から1994年にかけての人気コメディドラマ『我爱我家』(『わが家愛する』)の中の人気俳優葛優の座り方が代表的な例として挙げられているので、「葛優座り」とも言われる。



(中国国際放送局による)

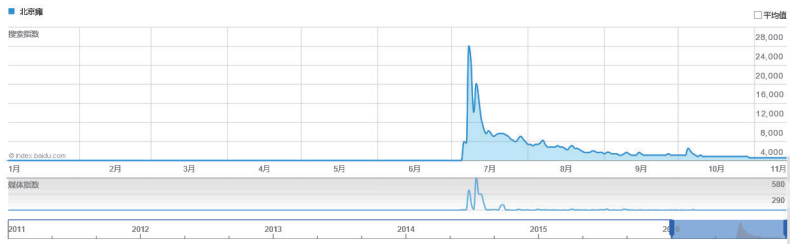


図17 “北京癱”の百度指数

### 17. 洪荒之力 (hóng huāng zhī lì, 洪荒の力)

2016年8月8日、リオ・オリンピックで100メートル背泳ぎの準決勝の後に取材に応じて、中国の傅園慧選手が「洪荒の力を出し切った」と話したのが大流行のきっかけとなった。

「洪荒」はもともと世界が混沌とした状態を指す。2015年に放送された人気ドラマ『花千骨』のセリフに「身体の中の洪荒の力(ドラマの中で最も強いとされる力)はもう抑えることができない」とあったが、傅園慧選手がそのセリフを借りて、自分が試合で力を尽くしたという意味で発言したと見られる。

傅園慧選手は表情豊かで個性のある若手選手であり、やや誇張した感じも

するが、その率直で偽りのない話しぶりは若者の共感呼んだ。

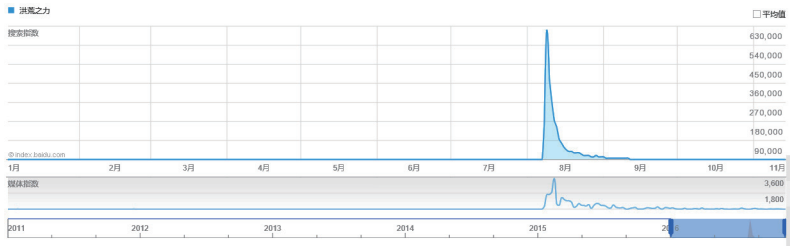


図18 “洪荒之力”の百度指数

### 18. 小目標 (xiǎo mù biāo, 小さな目標)

中国一の億万長者、万達グループの理事長である王健林氏が、テレビの取材に応じて、若者に対する人生のアドバイスに「最初からトップの億万長者ではなく、小さな夢からはじめよう」として、「たとえば、まず1億元（約15億円）を稼ぐ、といったような小さな目標を持ってがんばりましょう。何年で1億元を儲けるか、五年か、三年か。そしてその次に少し大きな目標、10億、100億へと進みましょう」と提言した。

一生かかっても手に入らないかもしれないという1億元は、1700億元の財産をもつ人間から見れば「小さな夢」であるが、それを聞いて「その小さな目標にびっくりした」と思う人が多いようだ。

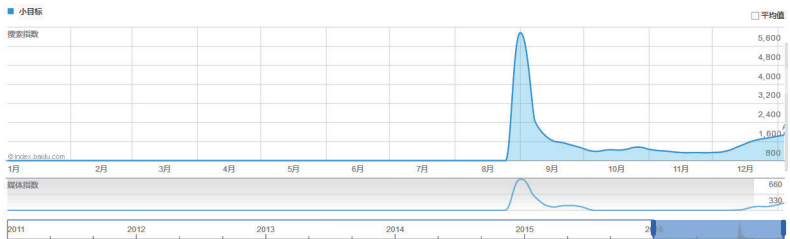


図19 “小目标”の百度指数

### 19. 蓝瘦香菇 (lán shòu xiāng gū, つらくて泣きたい)

2016年10月に、中国広西省南寧市に住む若者が失恋した後に、その悲し

い気持ちを表す動画をアップロードしたが、動画の中で“难受，想哭”（つらくて泣きたい）と繰り返し言っているところが、[n]と[l]、[g]と[k]を混同する広西訛りのため、視聴者に“蓝瘦、香菇”（青くて細いキノコ）に聞こえてしまう。そして、そのいかにも弱々しい様子が面白くて、大勢の人が真似することによって広がった。



（百度百科による）

この言葉の流行に拍車をかけたのは、この世に存在もしない青いキノコの画像をネット民が造り出したことにも一因があると思われる。

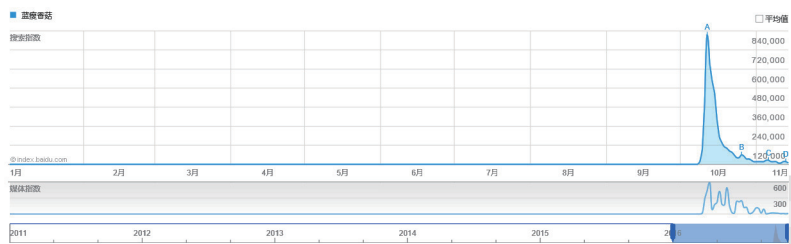


図20 “蓝瘦香菇”の百度指数

## 20. 川普 (chuān pǔ, トランプ)

アメリカ大統領選挙の候補者時代に、アメリカ大統領となったトランプ氏のことを指してふざけて用いられはじめた、音訳兼意識の言い方・読み方である。今まで、“川普”とは四川省訛りが入った標準語のことで、バカにされる対象になるか、四川省出身の人々が自嘲する言葉でもあった。

また、“川普”のほかに、トランプ氏のことを“床铺”（寝床）と訳すこともある。アメリカ大統領選挙に立候補することを笑い話のように思われたトランプ氏が、本当に選挙に勝つとは、主要メディアはほとんど予想できなかった。

ちなみに、中国のまともなメディアでは、文面上特別な意味のない“特朗

普”と、純粋な音訳をとっている。

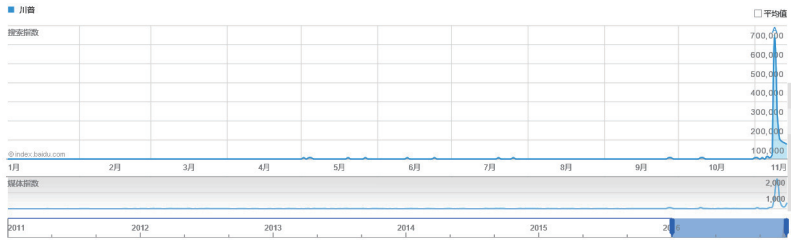


図21 “川普”の百度指数

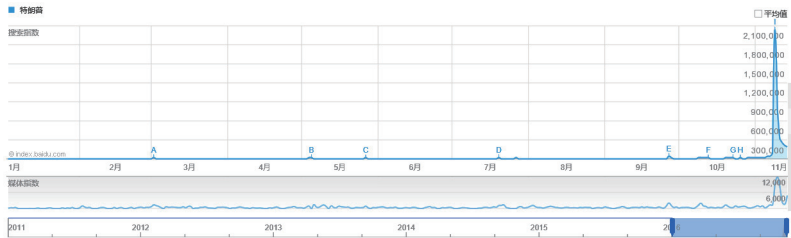


図22 “特朗普”の百度指数

主な参考サイト・参考文献

- [1] 百度百科：<http://baike.baidu.com/>
- [2] 百度指数：<http://index.baidu.com/>
- [3] 互动百科：<http://www.baik.com/>
- [4] 人民网：<http://www.people.com.cn/>
- [5] 中国网日本語版：<http://japanese.china.org.cn/>
- [6] 中国国際放送局日本語版：<http://japanese.cri.cn/2066/>
- [7] 人民中国日本語版：<http://www.peoplechina.com.cn/>
- [8] 中国中央テレビ局（央視網）：<http://www.cctv.com/>
- [9] ウィキペディア：<http://www.wikipedia.com>
- [10] レコードチャイナ：<http://www.recordchina.co.jp/>

趙蔚青 Zhao Weiqing 西安交通大学外国語学部准教授 専門：社会言語学、日本語学